

芸術・スポーツ

key word

- 音楽教育
- アウトリーチ
- 障害児者
- 社会貢献
- ダイバーシティ



林 睦

Mutsumi Hayashi

教育学部
教授

【プロフィール】

専門分野: 音楽教育
 1992 年 東京藝術大学
 音楽学部楽理科卒業
 1994 年 東京藝術大学大学院
 音楽研究科修士課程修了
 2003 年 大阪大学大学院
 文学研究科博士課程修了
 (音楽学)
 2005 年 滋賀大学教育学部
 講師
 2006 年 滋賀大学教育学部
 准教授
 2014 年 滋賀大学教育学部
 教授
 2021 年 滋賀大学教育学部
 附属音楽教育支援センター長

【主な社会的活動】

主な研究業績は音楽のアウトリーチ活動の概念を輸入し、普及したこと。2020 年に教育学部附属音楽教育支援センター「おとさぼ」の設立に携わり、センター長として、特別支援学校や特別支援学級等、障害児者への音楽教育支援を行っている。音楽教育支援センターが、2021 年度、2024 年度滋賀大学学長賞受賞、2022 年度に障害者の生涯学習に係る文部科学大臣表彰、日本アートマネジメント学会賞、2023 年度に日本音楽療法学会日野原賞を受ける。

E-mail:
 hayashi@edu.shiga-u.ac.jp

【代表的な研究テーマ】

□ 障害児者のための音楽教育センターの創設と運営 ～滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センター「おとさぼ」～

課題解決に役立つシーズの説明

SDGsやダイバーシティが謳われる現在、滋賀大学では、篤志により教育学部に附属音楽教育支援センター(愛称:おとさぼ)を創設し、障害児者の音楽教育や音楽活動の支援事業を 2021 年度から本格的に開始した。おとさぼは、全国でも珍しい、障害児者を対象とする音楽教育に特化した大学附属のセンターであり、スタッフは音楽教育や障害児教育等の専任教員 11 名とセンター専任教員 1 名の計 12 名から成る。藤村泰子記念基金をベースに寄附や助成、事業収入によって運営されている。障害児者が生涯にわたって音楽を楽しむことができるよう、活動や場を提供すること、障害児者の音楽教育について、先端的な研究やプログラム開発を実施し、国内外に発信することを目的としている。

センターの事業は、①アウトリーチ事業、②インリーチ事業、③指導者研修会・ワークショップ、④先端研究・パイロットプログラムの 4 つの柱から成る。

① アウトリーチ事業

滋賀県内の特別支援学校や特別支援学級に、音楽教育支援センター所属教職員や依頼した音楽家を派遣して、音楽教育プログラムを提供する。学校だけでなく、障害福祉サービス事業所、放課後等デイサービスなどにも出向き、音楽活動を支援している。

② インリーチ事業

大学の音楽棟内の教室を改装して専用のセッションルームを開設、そこで障害児者が音楽教育プログラムに参加したり、音楽活動を楽しんだりできるようにしている。センター専任教員(音楽療法士)等による音楽療法のセッション、センター所属教員、依頼した音楽家によるワークショップやアートプロジェクトなどを実施している。また、障害児者のためのピアノや音楽療法の教室も運営している。(教室は有料で月謝制)

③ 指導者研修会・ワークショップ

音楽教育や音楽療法の指導者向け研修会・ワークショップを開催し、障害児者の音楽教育の充実や広がりにも寄与する。

④ 先端研究・パイロットプログラム

大学附属センターとして、障害児者の音楽教育、音楽療法等についての先端研究、パイロットプログラムを実施し、研究成果を国内外に発信する。

なお、2021 年度は 21 事業に 1,081 名、2022 年度は 23 事業に 947 名、2023 年度は 36 事業に 3,252 名、2024 年度は 26 事業に 1,032 名の参加があった。今後も、障害児者を対象とした音楽教育や音楽療法の拠点となるべく、国や自治体、企業等との連携や研究を進めていきたい。

※事業の詳細は、おとさぼホームページで
<https://otosapo.com>



企業・自治体へのメッセージ

・障害児者への音楽教育支援について、現在、文化庁と文部科学省の委託事業を実施しており、滋賀県からの補助等も頂いております。引き続き、国や自治体との連携を希望しています。

・複数の企業から助成を頂いておりますが、今後も障害のある方のための音楽教育プログラムについて、受託研究や助成等を希望しています。